

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 キッズガーデンきらら館		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 8日		令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日		令和7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設での過ごし方を学ぶため、公園や地域の図書館に行ったり、スーパーなどでの買い物活動を行ったりしている。 年長児は公共交通機関を使用しての外出活動も行っている。 敷地内の畑でサツマイモを育て、子どもたちと一緒に草取りや収穫体験を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、社会体験活動として、公共施設や公共交通機関を利用する機会を設ける。 収穫体験では、サツマイモだけでなく、子どもたちと相談し他の野菜も育てる機会を設ける。また、収穫後のクッキング活動や、法人イベントでの出店なども行っていく。
2	子どもたち一人ひとりに合った支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 年齢ごとではなく、子どもたちの段階に合わせたグループ編成を行っている。 小集団での活動に加え、個別療育の時間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の行事等、活動内容によっては、全グループ合同など、少し人数の多い環境で過ごす時間も設けていく。
3	ファミリーサロンの実施	<ul style="list-style-type: none"> 親子で一緒に活動を行ったり、子どもたちの活動の様子を見ていただく機会として、ファミリーサロンを開催した。 茶話会を通し、保護者同士が相談し合える場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けに希望する活動内容のアンケートを実施し、ニーズに合わせた活動を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域に向けて発信する機会が少ない。 コロナ禍により交流を控えていたが、5類に引き下がった後、再度交流の場を設けるなど、体制の整備が不十分であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人のイベント時に、地域の方にもお越しいただけるよう発信していく。 児童館を利用したり、法人内の保育園と一緒に活動を行ったりする機会を設ける。
2	保育園や幼稚園に送迎を行っているお子様の保護者の方と直接会って話をすることが少ない	<ul style="list-style-type: none"> 療育参観週間を年2回設けたが、家庭により参加率に差がある。また、併行通園先の園行事等の関係で受け入れ時間が変更になるなど、期間の設定が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 半年に1回の面談だけでなく、ファミリーサロンや療育参観等を開催することで、直接会ってお話する機会を増やしていく。 療育参観については、いつでも参観可能であることをもっと保護者の方に発信し、療育参観週間以外にも気軽にお越しいただけるような雰囲気作りを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所 キッズガーデンきらら館
------	-----------------------

公表日 令和7年 2月 28日

利用児童数 15名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	0	・十分な活動スペースで、いつもたくさん体を動かしてもらっています。 ・広々としており、芝生広場も十分すぎる広さがあります。 ・屋内外ともに十分な環境のもと、支援をいただいています。	・引き続き。子どもの様子や活動内容に応じて、環境構成への配慮を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	1	・先生一人ひとり信頼でき、安心していきます。	・基準を満たした職員数を配置しております。 ・年度初めの行事の際に、職員数や専門性についての情報を伝えるようにしており、今後も、年度初めや保護者会の場、個別で分かりやすく伝えていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	0	・絵を使った説明もあり、分かりやすいです。	・子どもの段階を考慮した上で、行動のしやすさや分かりやすさにつながるよう、パーテーションで環境を区切ったり、視覚支援を取り入れたりと、個々の段階や状況に適した配慮を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	0	・とてもきれいな印象を受けています。 ・子どもの気持ちが崩れた時に、小越対応など空間を整えていただいています。	・清潔な空間で安心して過ごすことができるよう、引き続き配慮を行ってまいります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0	・子どもたちのことをいつもよく見て理解して下さっていると感じます。 ・きらら館に通うことができ、本当に幸せ者だと思います。 ・子どもに向き合って、適切な対応をしてくださっています。	・日々、職員研修や活動の振り返りなどを通して学びを深めております。さらに専門性をもって支援を行う事ができるよう、引き続き取り組んでいきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0		・支援プログラムについて、ホームページにて公表しておりますが、保護者会等でも内容について説明を行ってまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	0	・面談の際には、私のつたない説明から、課題を汲み取ってくださいます。 ・しっかりと聞き取っていただき、反映されていると思います。	・アセスメントを実施し、保護者の方と共通理解を図りながら、ニーズや課題の分析、児童発達支援計画の作成を行っております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	0	0	0	・本人や家族の意向に沿っており、明確な目標設定だと思います。	・児童発達支援ガイドラインに沿って、引き続き、個々の発達段階や課題、目標に応じた支援内容を設定してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		・引き続き、支援内容や子どもの現状等について、分かりやすく伝えるよう、丁寧に説明を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	0	・毎日違う活動で、とても楽しそうです。 ・日々、活動のテーマがあって良いと思います。	・子どもたちが楽しみながら、様々な経験、体験を積み重ねることができるよう、全職員で活動内容を考え、実施しております。また、引き続き、個々の段階に合った活動内容や対応を行ってまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	0	2		・並行して保育園や幼稚園に通われている方がほとんどのため実施しておりませんが、ニーズがあれば検討してまいります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0		・見学時や契約時に運営規定、活動内容、利用料等について説明を行っております。丁寧に説明するとともに、不明な点については、その都度ご質問頂き、回答してまいります。また、変更点があった際は迅速に伝達するようにしてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		・個別支援計画について、ガイドラインの提示と共に、支援内容や目標等について具体的に説明を行い、同意を得た上で支援を実施しております。共通理解の基、支援を実施することができるように心掛けて参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	0	0	・ファミリーサロンで講話を受けさせていただき、大変勉強になりました。早速自宅でも取り入れています。	・引き続き個々の特性の理解やかかわり方の学びにつながるよう家族支援を行ってまいります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0	・コドモンでの写真、いつもありがとうございます。送迎時に活動の様子を聞くこともいつも楽しみにしています。	・送迎時やコドモンなどで日々の活動の様子を丁寧に伝えるよう心掛けております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0		・面談や日々のやり取りを通じて、必要な情報を伝え、助言を行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	0	0	0	・一緒に子育てをしているような安心感を持って通わせることができています。	・保護者の方の思いに寄り添い、お子様にとっての最善を一緒に考えて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	0	0	・毎月、ファミリーサロンを開催してくださりありがとうございます。 ・兄弟を連れてファミリーサロンに参加した際、別室で面倒を見ていただきました。配慮が素晴らしいと感じました。 ・茶話会で他の保護者の方と話す時間を設けていただき、就園のことなど意見を聞くことができて大変助かりました。	・茶話会を通し、保護者の方同士でお話できる時間を設けております。 ・ファミリーサロンでは、きょうだい児も一緒にご参加いただいたご家庭が多くありました。引き続き、別室にて活動を行ったり、一緒に取り組むことができるよう活動内容を考慮したりし、きょうだい児も楽しむことができるよう工夫してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	0	0	0	・相談したことに対して、素早く対応して下さり、「すごい…」のひと言です。 ・療育センター受診にあたり、必要な書類などすぐに対応していただき、助かりました。	・相談等があった際は、迅速に職員間で話し合い、その都度丁寧に対応できるよう、心掛けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	0		・送迎時や面談、コドモン等を通して、子どもの様子や支援内容等の情報伝達ができるよう、配慮しております。送迎時や行事の中で直接お話しする機会も増やしてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2	0	0	・コドモンでいろいろ発信され、とても良いです。	・引き続き、Instagramやブログなども活用し、子どもたちの活動の様子が伝わるよう工夫してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	0		・個人情報の取扱いについて、十分な配慮を行ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	0		・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っていく。 ・訓練実施の方法について説明や伝達を行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	0	・子どもたちが避難訓練の様子を、家でも教えてくれます。	・定期的に避難訓練を実施し、訓練の様子を保護者へ伝えていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		・子どもたちが、安心して過ごせるよう、毎月の施設点検や車両点検、不審者対応訓練の実施を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	0		・引き続き、怪我等が発生した際には、適切に処置を行い、保護者に速やかに状況説明の連絡を行うよう徹底してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0	・登園拒否は今まで一度もなく、きらら館が大好きです。 ・毎日楽しみにしており、家でも嬉しそうにきらら館での出来事を話してくれます。	・子どもたちが安心して通うことができるよう、子どもたちの思いに寄り添い、できた！を積み重ねられるような支援を心掛けています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	0	・2人とも、「楽しかったー！」と帰ってくるので、安心してお願いできます。 ・「今日は何するかな？」と活動を楽しみに通っています。 ・家でも、先生の名前を言っており、とても楽しく通うことができています。	・引き続き子どもたちが楽しいと感じられる充実した支援となるよう、個々の段階や気持ちを考慮し、活動を実施していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	・子どもは正直です。以前通っていた事業所では泣いて嫌がりましたが、きらら館では一切ありません。本当にありがとうございます。 ・毎回利用後にコドモンで届く連絡帳を見るのが楽しいです。とても満足です。 ・子どもたち目線で、日々様々な活動を提供していただき、感謝でいっぱいです。	・子どもたちの経験、体験、学びにつながるよう、発達段階に沿って支援を実施し、達成感や満足感につながるよう取り組んでまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 キッズガーデンきらら館				公表日	令和7年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数に対して十分な広さである。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・適切に配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・子どもたちが過ごしやすいよう、 unnecessary なものをなくし、視覚的な支援も心がけている。トイレなど子どもの高さに合わせられており、段差もなくバリアフリー化がなされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・換気や消毒、清掃等を徹底し、環境整備に努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンや、集中して取り組むことができるよう必要に応じて個室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・目標を明確にして支援を行うとともに、その反省を踏まえて振り返りや改善を行い、職員間でも共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者等向け評価表を実施し、頂いた意見をもとに、業務改善に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティングや個人面談を通し、職員の意見を聞く機会を設けている。挙がった意見を元に、業務改善に取り組んでいる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・施設内研修として、月に3回程度、障害の知識や支援に関する研修を行ったり、外部研修に参加したりし、職員の資質向上に繋がっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成し、事業所ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを実施し、子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援計画案を作成後、職員にて支援者会議を行い、計画内容についてのすり合わせ、意見交換を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別支援計画を基に、さらに具体的な支援内容を記載した個別目標シートを作成し、支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたアセスメントツール(遠城寺式乳幼児発達検査表)を使用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各グループ担当者と、立案者とで話し合い、個々の現状に合った活動プログラムを設定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・毎月の目標に合わせ、活動プログラムが固定化しないよう、様々な意見を取り入れている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせる計画になるよう配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・1週間前に活動案の周知を行うとともに、当日の朝再度、目的や配慮事項などを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・活動終了後には、その日のうちに振り返りを行うようにしている。	・十分に時間を取ることができない日もあるため、振り返りの時間をしっかりと設けることができるよう、時間の使い方を工夫していく必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・日々の支援に関して記録を行い、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・計画作成から半年後にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・子どもの状況に応じ、児童発達支援管理責任者や、担当者が参画して、事業所での様子を伝えている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて連絡を取り、連携した支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて連絡会やミーティングを行うなど、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて連絡会を行うなど、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		・今後検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・障害のない児童と同じ空間で活動する機会を設けている。今後さらに交流を増やすことができるよう、交流会などの時間を設けていく。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・コドモンを通して日々の支援の様子を伝えており、保護者からの相談も受けている。また、定期的な面談の機会や、行事等で直接話す機会も得ている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ファミリーサロンにて、外部講師をお呼びして、子育てに関する講話を行っている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・丁寧な説明を心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談時に、保護者の意向を丁寧に聞き取るよう心掛けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・丁寧に説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・半年に1回の面談に加え、ファミリーサロンや送迎時などに相談に応じ、助言や支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・ファミリーサロンを通し、保護者同士がかわる機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応するよう心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月末にきらら館だよりを配信したり、Instagram・ブログ等のSNSを活用したりし、子どもたちの様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取扱いについて十分に配慮を行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・意思疎通や情報伝達のため、配慮しながら支援を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域住民を巻き込んだ行事の計画ができていなかった。今後は地域に開かれた事業運営を行っていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を行うとともに、様々な場面を想定し、年4回避難訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを作成し、必要な研修や訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・服薬については、毎朝アプリにて入力していただいております。てんかん発作等についてはその都度状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・該当児童なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画は玄関に掲示し、いつでも見られるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例集を作成するとともに、迅速に周知し、対応の検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を設置し、子どもの人権や虐待防止に関する研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束適正化委員会を設置しているが、身体拘束を行っている児童はいない。		